

第1号議案

令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

I 概況

諫早大村法人会は、公益社団法人として今年度で14年目を迎えました。当会は、会員はもとより一般市民・会員外法人までを対象として幅広く活動するため、ホームページや法人会だより、税務資料等の配付を通じて多くの情報を発信してきました。また、青年部会による「租税教室」や女性部会による「税に関する絵はがきコンクール」の活動とともに、各種税務研修会や経営セミナー、公開講演会等を開催し、多くの方々にご参加いただきました。

決算法人説明会や新設法人説明会では、法人税の確定申告に伴う決算・申告の実務をはじめ、法人会が推奨している自主点検チェックシートの活用等について諫早税務署担当官から説明していただきました。また、次代を担う子どもたちが税の重要性を正しく理解し関心を持ってもらうことを目的とした青年部会による「租税教室」や女性部会による「税に関する絵はがきコンクール」を実施しました。この他、諫早市と大村市の市長・議長に対し税制改正要望活動を行いました。今後とも、税知識の普及や納税意識の高揚を目的とする各種事業を積極的に進めてまいります。

法人会活動を安定的に行っていくためには、組織・財政基盤の強化が特に重要であることから、役員や関係保険会社の協力を得て会員増強施策に取り組みましたが、廃業や事業縮小などによる退会もあり、会員増にはつながりませんでした。会員増強と福利厚生制度の推進は、今後も引き続き取り組むべき重要な課題となっています。

これからも「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として、「税」に関する活動に重点をおくとともに、地域に密着した幅広い活動を推進してまいりますので、今後とも役員、会員の皆様を始め、関係機関の皆様方には変わらぬご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

II 組織関係

所管法人数	会員数	加入率
3,507社	945社（入会15社、退会27社）	26.9%

III 主な事業報告

1 税知識の普及を目的とする事業

(1) 決算法人説明会

諫早税務署管内の法人に対し、税制改正事項等決算手続きを行うにあたっての留意点等を説明し、適正な法人税等の申告が行われることを目的として実施した。

【実施回数4回、参加者数81名、詳細は事業実施状況書のとおり】

(2) 新設法人説明会

諫早税務署と共催し、諫早税務署管内に新たに設立された法人を対象に、税務上必要な申請・届出等の諸手続きを始め、事業の開始に際しての法人税法、消費税法上の留意点等についての理解を促すことを目的として実施した。

【実施回数1回、参加者数17名、詳細は事業実施状況書のとおり】

(3) 租税教室

青年部会が主体となり、諫早税務署管内租税教育推進協議会及び学校側と協議し、国税庁作成の租税教育DVDを教材として、諫早税務署管内の小学校児童に対して正しい税知識の理解を深めるために租税教室を実施した。

【実施校数6校、参加児童381名、詳細は事業実施状況書のとおり】

(4) 税務関係広報資料、税の啓発用小冊子の配付

税知識を深めることを目的として、法人会会員等に対し、国税局及び諫早税務署等が提供する最新の税務に関するチラシやパンフレット、税務関連小冊子等を配付した。

【送付回数6回、資料数10件】

2 納税意識の高揚を目的とする事業

(1) 税に関する絵はがきコンクール

女性部会が主体となり、租税教室の実施に合わせ租税教育活動の一環として諫早税務署管内の小学校児童に対し、税を正しく認識してもらうことを目的に、「税に関する絵はがき」の募集案内を行い、提出された作品から優秀作品を選び表彰するとともに、作品展示を行った。

【絵はがきの応募17小学校、465点、詳細は事業実施状況書のとおり】

(2) 税情報の発信

ホームページにおいて、各種研修会、講習会、講演会、セミナー等の開催要領を掲載するとともに、リンク集を利用して適宜必要な税情報を提供した。また、広報誌「法人会だより」は、諫早税務署提供の国税に関する情報、税制改正事項などを掲載し、全法連広報誌「ほうじん」と合わせて全会員へ発送するとともに、公共機関等において広く配布した。

3 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

(1) 税制改正要望活動

一般社団法人長崎県法人会連合会、公益財団法人全国法人会総連合と連携して、税制改正アンケートや税制改正要望を取りまとめるとともに、諫早市長・議長、大村市長・議長、本県選出国會議員に対して、全法連が作成した「税制改正に関する提言」により税制改正要望活動を行った。

【詳細は事業実施状況書のとおり】

(2) 全国大会

全国の経営者が集い、「税に関する提言活動」を主なテーマに、法人会の目的を達成するための情報交換、意見交換並びに議論を行った。

【参加者数1名、詳細は事業実施状況書のとおり】

(3) 全国青年の集い

全国の青年経営者が集い、「租税教育活動」を主なテーマに、法人会の目的を達成するための情報交換、意見交換並びに議論を行った。

【参加者数2名、詳細は事業実施状況書のとおり】

(4) 全国女性フォーラム

全国の女性経営者が集い、「税に関する絵はがきコンクール」を主なテーマに、法人会の目的を達成するための情報交換、意見交換並びに議論を行った。

【参加者数6名、詳細は事業実施状況書のとおり】

4 地域企業の健全な発展に資する事業

(1) 公開講演会

諫早税務署管内の経営者、従業員及び一般市民を対象として、経営、経済等をテーマに地域企業の健全な発展を目的として実施した。

【実施回数2回、参加者数153名、詳細は事業実施状況書のとおり】

(2) 経営セミナー

経営者としての資質向上、従業員の能力向上を目指し、税務・経営セミナーを実施した。また、オンラインによるセミナーを実施するとともに、経営や人材育成、経理、法律等様々なジャンルで700タイトル以上のセミナーを視聴できるインターネットセミナーを実施した。

【実施回数2回、参加者数677名、詳細は事業実施状況書のとおり】

5 会員の企業保全に資する事業及び関連団体からの事務受託

(1) 貸倒保障制度（取引信用保険）については、資料の配付やホームページへの掲載を通じて普及促進を図った。

(2) 関連する諫早間税会からの業務受託事業を行った。

6 会員の福利厚生等に資する事業及び会員の交流に資するための事業

(1) 経営者大型保障制度の普及推進を図った。

(2) ビジネスガードの普及推進を図った。

(3) がん保険制度、医療保険制度の普及推進を図った。

(4) 各種会合に付随する懇談会を実施した。

決算報告

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

公益社団法人諫早大村法人会

(単位:円)

科 目	予算額 [①]	決算額 [②]	差異 [②-①]
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	500	750	250
基本財産受取利息	500	750	250
受取会費	5,920,000	5,708,000	△ 212,000
受取会費	5,920,000	5,708,000	△ 212,000
事業収益	100,000	100,000	0
業務受託事業収益	100,000	100,000	0
受取補助金等	9,494,000	9,688,000	194,000
受取全法連助成金	8,894,000	8,894,000	0
受取全法連補助金	0	194,000	194,000
受取県連補助金	600,000	600,000	0
受取負担金	147,000	144,000	△ 3,000
青年部・女性部会費	147,000	144,000	△ 3,000
雑収益	53,500	85,758	32,258
受取利息	100	12,758	12,658
雑収益	53,400	73,000	19,600
経常収益計	15,715,000	15,726,508	11,508
(2) 経常費用			
事業費	10,865,200	10,534,568	△ 330,632
役員報酬	2,653,200	2,653,200	0
給料手当	703,500	705,544	2,044
退職給付費用	144,720	144,720	0
福利厚生費	442,200	442,846	646
会議費	600,000	576,930	△ 23,070
旅費交通費	972,080	931,073	△ 41,007
通信運搬費	637,150	562,379	△ 74,771
減価償却費	113,900	94,582	△ 19,318
消耗品費	337,800	392,741	54,941
修繕費	6,700	22,110	15,410
印刷製本費	1,035,150	887,760	△ 147,390
燃料費	16,750	14,975	△ 1,775
光熱水料費	134,000	134,531	531
賃借料・リース料	903,160	842,391	△ 60,769
保険料	13,400	10,466	△ 2,934
諸謝金	1,000,000	1,067,000	67,000
租税公課	0	300	300
支払負担金	206,570	236,210	29,640
委託費	159,000	158,400	△ 600
会場費	510,000	388,090	△ 121,910
広告宣伝費	117,000	116,500	△ 500
表彰費	20,000	22,000	2,000
事務所管理費	87,100	79,596	△ 7,504
支払手数料	12,000	13,604	1,604
新聞図書費	30,820	30,440	△ 380
雑費	9,000	6,180	△ 2,820

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

公益社団法人諫早大村法人会

(単位:円)

科 目	予算額 [①]	決算額 [②]	差異 [②-①]
管理費	4,849,800	5,141,968	292,168
役員報酬	1,306,800	1,306,800	0
給料手当	346,500	347,506	1,006
退職給付費用	71,280	71,280	0
福利厚生費	217,800	218,118	318
会議費	320,000	326,110	6,110
旅費交通費	27,920	63,559	35,639
通信運搬費	362,850	456,654	93,804
減価償却費	56,100	46,584	△ 9,516
消耗品費	112,200	162,867	50,667
修繕費	3,300	10,890	7,590
印刷製本費	214,850	297,488	82,638
燃料費	8,250	7,375	△ 875
光熱水料費	66,000	66,261	261
賃借料・リース料	444,840	414,909	△ 29,931
保険料	106,600	105,154	△ 1,446
租税公課	71,000	71,000	0
諸会費	63,000	62,000	△ 1,000
支払負担金	23,430	20,790	△ 2,640
支払寄付金	10,000	0	△ 10,000
会場費	190,000	239,670	49,670
渉外慶弔費	60,000	43,548	△ 16,452
事務所管理費	42,900	39,204	△ 3,696
支払手数料	688,000	685,451	△ 2,549
表彰費	20,000	60,000	40,000
新聞図書費	15,180	14,992	△ 188
雑費	1,000	3,758	2,758
經常費用計	15,715,000	15,676,536	△ 38,464
当期經常増減額	0	49,972	49,972
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
固定資産除却損	0	2	2
經常外費用計	0	2	2
当期經常外増減額	0	△ 2	△ 2
当期一般正味財産増減額	0	49,970	49,970
一般正味財産期首残高	11,237,277	11,367,776	130,499
一般正味財産期末残高	11,237,277	11,417,746	180,469
Ⅲ 正味財産期末残高	11,237,277	11,417,746	180,469

貸借対照表

令和8年3月31日現在

公益社団法人諫早大村法人会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,827,464	8,242,660	△ 415,196
前払金	188,830	0	188,830
流動資産合計	8,016,294	8,242,660	△ 226,366
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	976,193	760,015	216,178
特定資産合計	976,193	760,015	216,178
(3) その他固定資産			
什器備品	282,336	4	282,332
電話加入権	74,984	74,984	0
敷金	105,000	105,000	0
保証金	16,000	16,000	0
その他固定資産合計	478,320	195,988	282,332
固定資産合計	4,454,513	3,956,003	498,510
資産合計	12,470,807	12,198,663	272,144
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	54,051	43,357	10,694
預り金	17,010	18,530	△ 1,520
仮受金	6,000	9,000	△ 3,000
流動負債合計	77,061	70,887	6,174
2. 固定負債			
退職給付引当金	976,000	760,000	216,000
固定負債合計	976,000	760,000	216,000
負債合計	1,053,061	830,887	222,174
III 正味財産の部			
一般正味財産合計	11,417,746	11,367,776	49,970
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
正味財産合計	11,417,746	11,367,776	49,970
負債及び正味財産合計	12,470,807	12,198,663	272,144

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

公益社団法人諫早大村法人会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金				
	現金	手許保管	運転資金として	136	
	預金	普通預金	〃	5,827,328	
		十八親和銀行諫早支店		925,952	
		十八親和銀行諫早中央支店		1,127,884	
		たちばな信用金庫本店		1,031,227	
		十八親和銀行(青年部)		404,088	
		十八親和銀行(女性部)		180,529	
		郵便局		2,157,648	
		定期預金	〃	2,000,000	
	十八親和銀行諫早支店		2,000,000		
	前払金	全国法人会総連合	7,827,464		
			188,830		
			<現金預金計>		
			188,830		
流動資産合計				8,016,294	
(固定資産)	基本財産	定期預金			
	預金	十八親和銀行諫早支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共用財源として使用している。	3,000,000	
			<基本財産計>	3,000,000	
	特定資産	定期預金			
	預金	十八親和銀行諫早中央支店	退職金の支払に備えた積立資産	976,193	
			<特定資産計>	976,193	
その他固定資産	什器備品	液晶ビデオセット	公益目的保有財産であり事業・管理供用財産	1	
		エアコン	〃	1	
		パソコン	〃	155,467	
		パソコン	〃	126,867	
		電話加入権	0957-22-8479	〃	74,984
		敷金	事務所敷金	〃	105,000
	保証金	駐車場保証金	〃	16,000	
			<その他固定資産計>	478,320	
固定資産合計				4,454,513	
資産合計				12,470,807	
(流動負債)	未払金	村田経理事務所	顧問料の未払分	22,000	
		タチカワ㈱	コピーカウンター料の未払分	32,051	
			<未払金計>	54,051	
	預り金	役員に対するもの	源泉所得税等の預り分	17,010	
			<預り金計>	17,010	
	仮受金	会員	受取会費等の二重受取分	6,000	
			<仮受金計>	6,000	
流動負債合計				77,061	
(固定負債)	退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えたもの	976,000	
			<退職給付引当金計>	976,000	
固定負債合計				976,000	
負債合計				1,053,061	
正味財産				11,417,746	

監査報告書

令和8年4月13日

公益社団法人 諫早大村法人会
会長 中村人久 様

公益社団法人 諫早大村法人会

監事 井手雅康

監事 西山一壽

監事 森康則

監事 山下三郎

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しましたが、その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその附属明細書は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

第2号議案

役員選任（案）

役職名	氏名	法人名
理事	柿本 修	十八親和銀行
理事	山口 順市	十八親和銀行大村支店